

6-3 情報を共有する環境の整備

事業費 2億2,908万円

財源	国のお金		事業費	コミュニティFM中継局運営費	1億2,175万円
	県のお金			行政情報発信事業	3,882万円
	市の借金	5,090万円		市政協力員事業	3,482万円
	その他	1,739万円		地域情報通信網管理運営費	2,672万円
	市のお金	1億6,079万円		その他	697万円

市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっていることを目指します

主な事業

- ◆横手市情報発信戦略プロジェクト事業(340万円)
行政情報や、企業・市民の皆さんからの情報を集約する『横手市情報センター』を運営し、常に新鮮な情報を市民の皆さんにお届けします。また横手市公式のフェイスブック、ツイッター、LINEなどのSNSを活用し、横手の魅力を全国に発信します。
- ◆コミュニティFM中継局運営費(建設)(1億1,535万円)
コミュニティFM放送設備の更新と強化を実施し、情報を確実にお届けすることで、市民の皆さんの安全・安心につなげます。



お米の天使で横手のんめものマスコットキャラクター「よこてん」のLINEスタンプ

6-4 市内外との交流連携の推進

事業費 2億8,205万円

財源	国のお金		事業費	ふるさと納税PR事業	2億5,583万円
	県のお金	375万円		ふるさと会支援事業	756万円
	市の借金			移住定住促進事業	744万円
	その他			奨学金返還支援事業	519万円
	市のお金	2億7,830万円		その他	603万円

市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されていることを目指します

主な事業

- ◆移住定住促進事業(744万円)
移住希望者にとって後悔のない移住となるよう、移住検討者への情報発信、オンライン移住相談、移住支援金の支給等、一連の対応をきめ細やかに実施します。
- ◆応援人口との関係深化事業(364万円)
応援人口との交流を図るため「なべっこ遠足 in 東京」や横手市の課題応援事業を行います。応援人口との繋がりや関係をさらに深める仕組みについて東北大学と共同研究を行います。
- ◆奨学金返還支援事業(519万円)
修学意欲のある学生の奨学金返還に対する経済的不安の低減と、地元への定住や次世代を担う人材確保を推進するため、奨学金返還額の一部を支援します。



東北大学との共同研究発表会

7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進 事業費13億3,657万円

財源	国のお金	3,935万円	事業費 の ため の 施 策 実 現 の た め の 費	情報システム運用管理費	2億5,671万円
	県のお金	7,490万円		議員人件費	1億9,546万円
	市の借金			ネットワーク管理費	1億5,769万円
	その他	5,199万円		公用車管理費	9,190万円
	市のお金	11億7,033万円		その他	6億3,481万円

行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、PDCAサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われていることを目指します

主な事業

◆ICT活用サービス推進事業(300万円)

行政サービスにおける市民や事業者の利便性の向上と新しい生活様式への対応を図るため、行政手続のオンライン化やICTを活用したサービスの検討を行います。

◆個人番号カード等交付事務費(4,067万円)

マイナンバー制度及びマイナンバーカードに関する情報の提供に努め、市民のニーズに対応したマイナンバーカードの申請及び交付の方法により、カードの普及を促進します。

- ・窓口・・・庁舎で写真撮影を行い、職員がカード申請を代行します。
- ・事業所や各種団体・・・横手市内の事業所や各種団体等へ出張し申請の受付、交付を行います。
- ・カードの申請作業も職員が代行します。
- ・商業施設・・・商業施設へ出張し、写真撮影やカードの申請代行を行います。



マイナンバーカード申請の様子

7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 事業費80億9,004万円

財源	国のお金		事業費 の ため の 施 策 実 現 の た め の 費	公債償還元金	64億9,746万円
	県のお金	1,285万円		財産経営推進計画実施事業	4億371万円
	市の借金	4億8,940万円		大型公共施設整備事業	3億5,889万円
	その他	1億9,503万円		ふるさと応援基金積立金	2億4,426万円
	市のお金	73億9,276万円		その他	5億8,572万円

限られた経営資源【ヒト(人材)・モノ(施設等)・カネ(財源)]を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られていることを目指します

主な事業

◆財産経営推進計画実施事業(4億371万円)

人口や財源の減少に対応し、公共施設を適正な規模や機能に再配置することを目的に策定した「横手市財産経営推進計画(FM計画)」を昨年度改訂しました。この計画に基づき、令和4年度は旧雄物川庁舎、旧たいゆう保育園、旧わんぱく館などの解体工事を行います。また次年度以降に向けて横手スキー場、旧雄物川北小学校などの解体工事設計業務を行います。このほか、FM計画での再配置方針が「維持」となっている施設の今後を考える市民ワークショップを、継続して実施します。

◆大型公共施設整備事業(3億5,889万円)

老朽化した横手体育館及び横手市民会館の移転、建替えをするための設計業務や令和8年度にオープンした後の運営体制について検討を行います。

お知らせ

横手市財産経営推進計画(FM計画)を改訂しました

市の公共施設の多くは昭和45年から平成12年頃にかけて建設されており、老朽化が進んでいます。また、人口減少や少子高齢化社会の進展に伴い、施設利用者の減少や、税収の伸び悩みなどが懸念されています。

このような課題に対して、公共施設の機能や提供するサービスを見直し、持続可能な行政運営を行うため平成28年度に横手市財産経営推進計画(FM計画)を策定しました。

計画策定から5年が経過し、施設の統廃合や譲渡が進み、市の環境も変化しています。そこで、現状と課題を改めて整理することや、令和2年度に策定した「横手市公共施設個別施設計画」に示した施設の長寿命化や改修内容、実施時期を取り込むなど、FM計画の改訂を行いました。その中には、大型公共施設である横手体育館や横手市民会館の建て替えも含んでおります。

今後はこの計画に基づいて、公共施設の最適化に向けた施策を実施してまいります。



7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 事業費76億7,822万円

財 源	国のお金	1,668万円	施 策 実 現 の た め の 費	人件費	75億9,202万円
	県のお金	1億4,358万円		特別職人件費(三役等)	4,835万円
	市の借金			職員研修及び厚生費	2,471万円
	その他	8,035万円		特別職人件費(教育長)	1,234万円
	市のお金	74億3,761万円		その他	80万円

※三役…組織における三つの重要な役職のことを意味し、横手市では、市長、副市長(2名)を指します。

職員一人ひとりが、市民(お客様)の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応していることを目指します

主な事業

- ◆職員研修費(353万円)
職員一人ひとりの知識や能力を向上させ、全体の資質も向上するよう職員研修を実施します。
- ◆厚生費(2,118万円)
職員が心身ともに健康で職務に精励するとともに、家庭生活との両立が実現できるよう、職場健診やストレスチェックを行います。



職員研修の様子